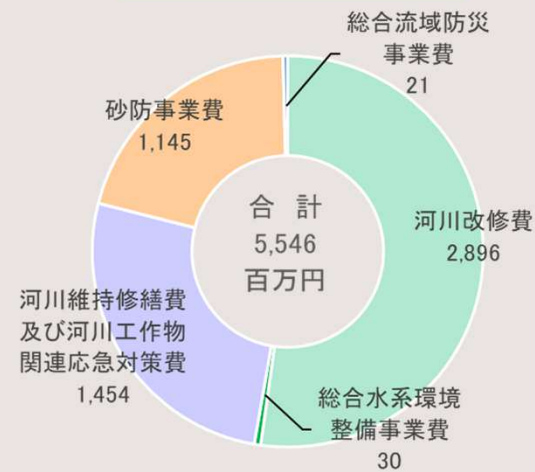
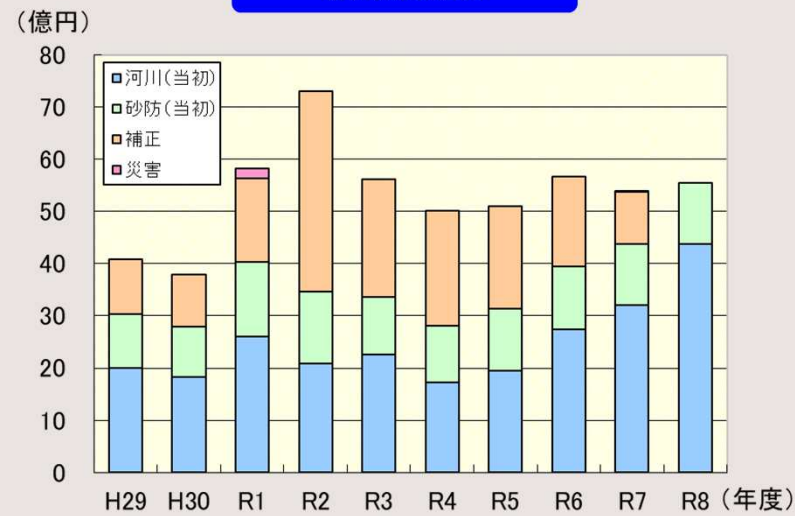


令和8年度事業費一覧



※諸費等除く 四捨五入により合計等一致しない場合がある

事業費の推移



組織(所在地・アクセス)



渡良瀬川河川事務所
〒326-0822 栃木県足利市田中町661-3

織姫神社、大日苑、足利学校、旧50号線、至桐生、足利駅、JR両毛線、至小山、渡良瀬川、中橋、岩井山、福寿大橋、至伊勢崎、足利市駅、233号、東武鉄道足利市駅より徒歩7分、至前橋、50号線、至水戸、至浅草

渡良瀬川流域防災情報発信施設
わたらせ川のふれあい館せせら
☎ 0284(44)3001

〒326-0046 栃木県足利市岩井町465-1 エコアールグリーンプラザ(渡良瀬グリーンプラザ)3F

佐野河川出張所 ☎ 0283(21)6810
〒327-0843 栃木県佐野市堀米町3971-10

足利出張所 ☎ 0284(71)2202
〒326-0822 栃木県足利市田中町661-5

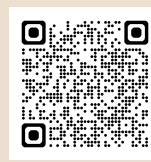
桐生出張所 ☎ 0277(44)3724
〒376-0004 群馬県桐生市小梅町1-7

大間々砂防出張所 ☎ 0277(72)1664
〒376-0101 群馬県みどり市大間々町大間々1204

足尾砂防出張所 ☎ 0288(93)2151
〒321-1513 栃木県日光市足尾町向原5-17

事務所HPはこちら ↓

Xはこちら ↓



Watarase River 2026

渡良瀬川 事業概要 2026



旗川改修事業 築堤(嵩上げ・拡幅)状況 (佐野市村上町地先)[令和8年3月撮影]



足尾砂防堰堤 (日光市足尾町地先)[令和7年9月撮影]



国土交通省 関東地方整備局 渡良瀬川河川事務所
<https://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>

TEC-FORCE:緊急災害対策派遣隊
大規模な自然災害発生時に被災地方自治体に対して早期復旧のための技術的な支援を迅速に実施します。
<https://www.ktr.mlit.go.jp/bousai/index.html>



国土交通省関東地方整備局 渡良瀬川河川事務所

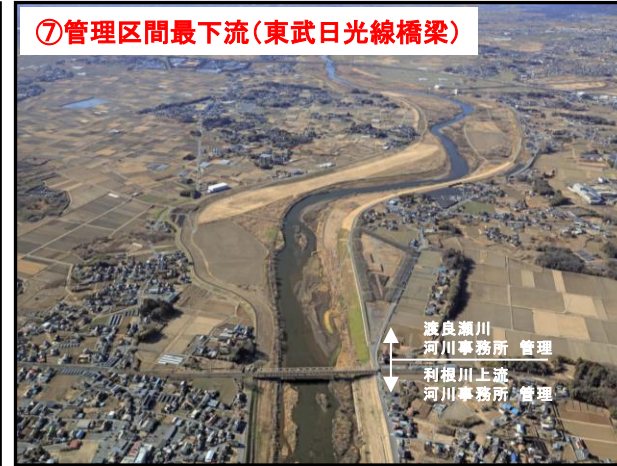
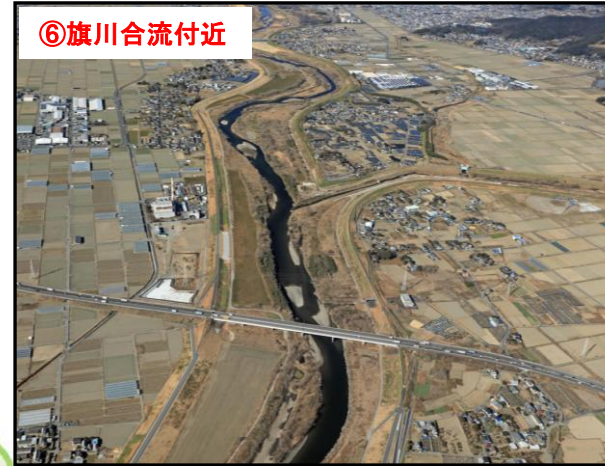


渡良瀬川の概要 ～日本一の大河「利根川」の最も大きな支流～

渡良瀬川の流域及び河川の概要

渡良瀬川は、その源を、栃木県日光市の皇海山に発し、足尾山地を流下し草木ダムに注ぎ、山間地を経て群馬県みどり市で関東平野に流れ出ます。ここより流路を南東に変え、足尾山地の南西縁に沿って流下し、左支川桐生川を合流後、栃木県足利市で岩井山を迂回します。その後、左支川の旗川、秋山川、右支川の矢場川を合流し、渡良瀬遊水地を過ぎ、左支川巴波川、思川を合わせ利根川本川に合流する一級河川です。

[源 流] 皇海山(すかいさん)標高2,144m [流路延長] 111.7km [流域面積] 2,621km² [流域内人口] 約 124万人 ※ 出典：第10回河川現況調査(調査基準年：平成22年)



渡良瀬川河川事務所の管理区間

渡良瀬川河川事務所では、河川管理区間として、渡良瀬遊水地より上流の東武日光線橋梁(栃木県栃木市藤岡町藤岡)から高津戸橋までの区間及び草木ダム区間、砂防区域として桐生市赤岩橋を基準点とした上流域を管理しています。

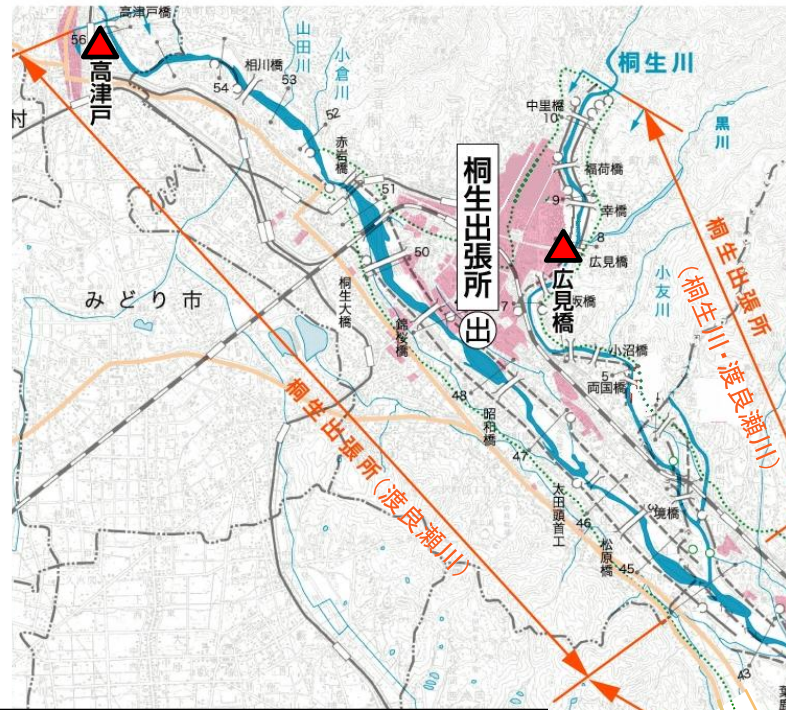
事務所管内

- 直轄河川管理区間：76.9km
 渡良瀬川 42.5km、桐生川 9.6km、蓮台寺川放水路 0.6km
 旗川 2.2km、秋山川 2.2km、矢場川 12.5km、
 多々良川 0.8km、草木ダム区間 6.5km
- 直轄砂防区域：504.7km²
 ※栃木県日光市足尾町の全域、群馬県桐生市の一部、
 群馬県みどり市の一部

2026 河川事業の取り組み

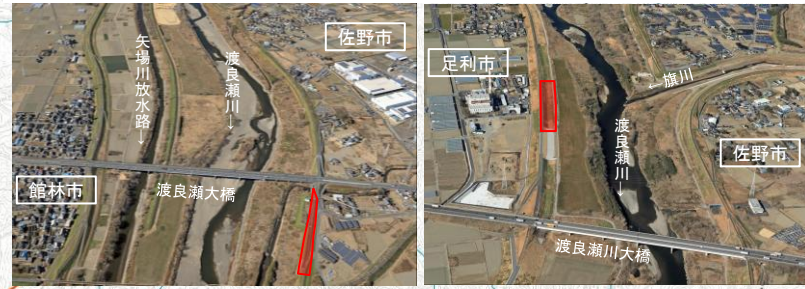
渡良瀬川流域では、昭和22年のカスリーン台風による出水により渡良瀬川および桐生川の堤防が決壊し、甚大な被害を受けました。その後、足尾砂防堰堤および草木ダムの建設をはじめとした上流域における整備や下流の岩井分水路の新設、河道の付替や引堤工事などの改修を実施してきました。また、内水氾濫対策として三杉川排水機場など三つの機場を整備するなど様々な対策を行い、カスリーン台風以降、渡良瀬川の堤防が決壊するなどの被害は発生していません。しかしながら、近年全国的に頻発する水災害による被害や気候変動による降雨量増大による水災害の激甚化・頻発化を踏まえると、出水に対する備えは万全とはいえません。令和8年度は、足利市の中心部を流れる渡良瀬川に架かる中橋の改築を進めるとともに、堤防の嵩上げ・拡幅、支川旗川合流点の水衝部対策に取り組んでいく予定です。

河川事業の整備方針



渡良瀬川の改修

堤防の必要な高さや幅が不足している箇所について、築堤(嵩上げ・拡幅)等を行います。また、旗川の合流点において、堤防の洗堀を防ぐため、水衝部対策(護岸整備)を行います。



環境の取り組み

管内の水質調査や河川水辺の国勢調査(生物調査など)、“水辺の楽校”を利用した環境学習の支援等を行います。



また、ハリエンジュを中心とした樹林化対策や河川環境の定量的な目標の検討など、ネイチャーポジティブを実現する川づくりを進めていきます。

かわまちづくり

沿川自治体のまちづくり計画等を踏まえた環境整備に向けて調整を図ります。「足利市かわまちづくり計画」に基づき、渡良瀬川堤防等を活用した「サイクルツーリズム」による賑わい創出を目指した環境整備を進めていきます。



河川の維持管理

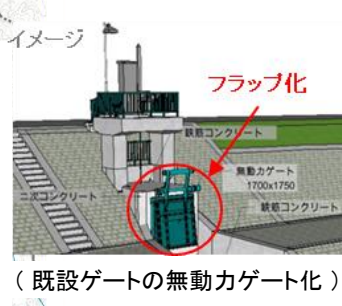
管内(堤防延長約77km)の堤防や排水施設等河川管理施設の日々点検や巡視、異状発生の際の補修等を行い、洪水や災害から人々の暮らしを守るため、様々な維持管理を行います。

また、「河川管理のDX化」を推進し、河川管理の効率化を図ります。



河川管理の高度化

- ・三次元河川管内図の活用した堤防除草
- ・ドローンを活用した河川巡視
- ・既設ゲートの無動力ゲート化による、施設の老朽化の解消とともに操作員の省人化を図ります。



水門・機場の管理

菊沢川排水機場の操作制御設備は、老朽化が進行していることから操作制御設備の更新を行っています。



渡良瀬川上流特定構造物改築事業(中橋)

足利市の中心部を流れる渡良瀬川に架かる中橋付近では、堤防の高さや幅が不足しており、国・県・市共同で中橋の改築を進めています。令和8年の夏頃には堤防の高さ不足が解消されます。引き続き、事業完成に向け推進していきます。



雨量・水位の観測と、洪水時の予警報の発表

渡良瀬川流域の雨量、管理河川の水位をリアルタイムで観測し、洪水時には、河川の水位に応じて渡良瀬川及び桐生川の洪水予報、水防警報を発表します。

洪水予報基準観測所諸元表				
水位	水防団待機水位	氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位
観測所名	(m)	(m)	(m)	(m)
▲高津戸	2.20	3.30	4.40	5.00
▲足利	3.00	3.30	4.90	5.40
▲広見橋	1.70	2.00	3.00	3.70

川の防災情報

リアルタイムの雨量と水位を知りたい時は
▼にアクセス
<https://www.river.go.jp>



渡良瀬川流域治水プロジェクト2.0

近年、全国各地で豪雨災害が激甚化・頻発化しており、流域全体を俯瞰し、国、流域自治体、企業等のあらゆる関係者が協働して取り組む治水対策「流域治水」を推進していくことが必要です。このため、渡良瀬川流域においては、河川管理者に加え、県、市町等の関係者が一堂に会する「渡良瀬川流域治水協議会」※を設置し、「渡良瀬川流域治水プロジェクト」を令和3年3月に策定・公表しました。その後、グリーンインフラ等を追加・更新し、さらに、気象変動のスピードに対応する必要から、流域治水の取組を加速化・深化させ、あらゆる関係者による、様々な手法を活用した対策の一層の充実を図るため、令和6年3月に「渡良瀬川流域治水プロジェクト2.0」を策定しました。



「流域治水」のロゴマーク

凡例	
■ 河川改修事業	→ 国管理区間
■ 特定構造物改築事業	→ 想定氾濫区域
▲ 洪水予報基準観測所	→ 出張所別管理区間

※令和7年4月現在の構成員数[23]

2026 砂防事業の取り組み

渡良瀬川上流域における砂防事業については、足尾銅山の煙害や山火事等の影響により荒廃が著しい日光市足尾町地区において、砂防堰堤の建設や山腹工を実施し、出水による土砂の流出などを防ぐとともに、NPO法人との官民協働による緑の復元を実施してきました。草木ダムより下流域では、赤城山東斜面や流域内各溪流からの局所的な集中豪雨等に対する土砂災害対策を進めてきました。

また、これまで整備した砂防設備においては、完成後50年以上を経過した老朽化の著しい施設が多数存在しており、砂防堰堤等の長寿命化対策として施設の改築等を随時進めています。令和8年度も土砂災害の防止・軽減を図るため、これまでの取り組みを継続すると共に新規の砂防堰堤や山腹工、既設砂防堰堤改築などを中心にDX技術を活用することで効果的・効率的に事業に取り組んでいきます。

砂防事業の整備方針

足尾砂防出張所管内

1 小滝川一号砂防堰堤

気候変動に伴い激甚化・頻発化する土砂災害等に対し、流出土砂の防止や不安定土砂の抑制により土砂・洪水氾濫被害の防止・軽減を図るため、砂防堰堤の整備を推進します。



不透過型砂防堰堤のイメージ

2 松木川上流堰堤群改築

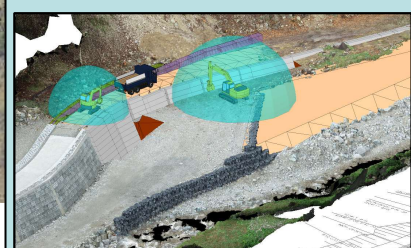
足尾砂防堰堤から上流域にある砂防堰堤の補強を行うことにより長寿命化を図るとともに、下流域内の土砂災害危険度の軽減を図ります。また、これらの施設までのアクセスを確保するため、工事用道路の整備を行います。



～DX取組事例～



ARを用いた構造物投影



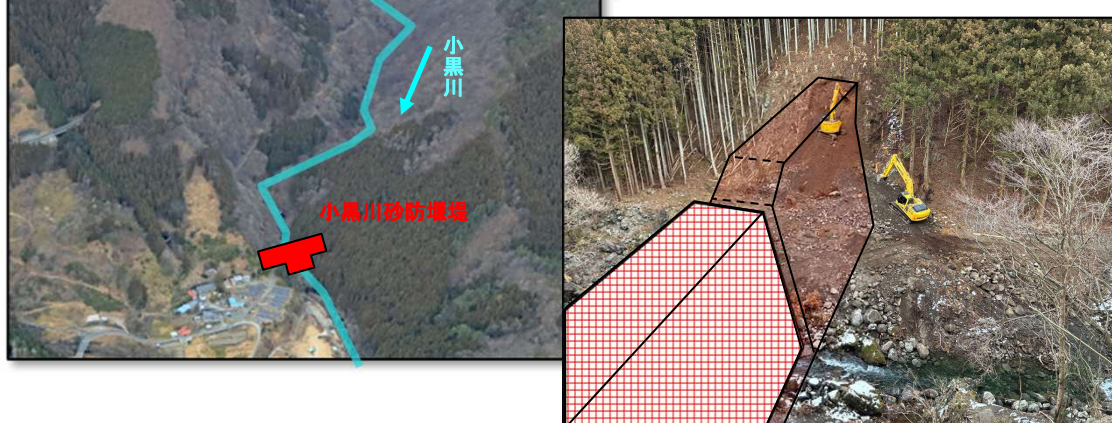
3次元モデルによる
施工ステップ図



大間々砂防出張所管内

3 小黒川砂防堰堤

赤城山による火山性の地質に由来する荒廃地が広く分布しており、土砂生産が非常に活発なため、流出土砂の防止や不安定土砂の抑制により土砂・洪水氾濫被害の防止・軽減を図るため、砂防堰堤の整備を推進します。



透過型砂防堰堤施工状況(床掘)

4 中山沢砂防堰堤

渡良瀬川支川塩沢川にそそぐ中山沢において、土石流による下流域への直接的な被害及び塩沢川の土砂・洪水氾濫被害の防止・軽減を図るため、新規の砂防堰堤に着手します。



透過型砂防堰堤のイメージ

5 日光市足尾町地区における体験植樹



煙害や山火事等の影響で緑が失われた足尾町地区において、環境学習の一環として、体験植樹を実施しています。足尾の山に緑を取り戻す活動としては、基盤整備(山腹工)が完了した箇所をNPO法人が植樹する場所として提供するなど官民協働による植樹活動を行っております。

渡良瀬川流域 大規模土砂災害対策連絡会の取り組み

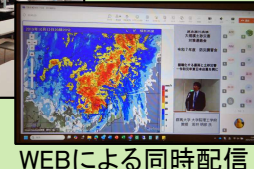
大規模土砂災害発生時に国と県、市及び関係者が連携し、減災活動や災害対応を円滑に進めるため、対策連絡会を設置して、防災意識の向上に関する活動及び災害対応能力の向上を図るための合同防災訓練等を実施しています。



合同防災訓練(WEB)実施状況



防災講習会の実施状況



WEBによる同時配信